

## 第41回 SATOU フォーラム

第32回から新会場（八重洲）です。下記の地図参照

URL: <https://satou-forum.jp> (右 QR コード)

あるいは「SATOU フォーラム」で検索してください。

(過去の講演内容の概容又は資料もご覧になれます)



記

日時: 2024年6月11日(火) 16:00~19:00 (受付開始は15:50より)

会場: イオンコンパス東京八重洲会議室 RoomD

中央区京橋1-1-6 越前屋ビル4階

フォーラムの講演そして交流会も併せて、出欠票に記載の上、ご返送ください。

(FAX 又は PDF にてメールで送付ください。)

- > 15:50~16:00 受付
- > 16:00~16:15 会員情報発信
- > 16:15~18:00 [講演] (質疑応答時間含む)

「海外からも注目されつつある日本の介護事業、現下の課題はズバリなにか？  
高齢化先進国日本、介護保険制度施行四半世紀経過、今問う。  
最近供給され始めたシニア住宅（賃貸と分譲の2タイプ）の今後の市場性をどう予想するか？」

—板倉先生は、三井不動産で同僚だったが、若いとき聖路加病院の日野原先生の先駆的なプロジェクトにメンバーの一員として参画し、日野原イズムの薫陶を受けたのをキッカケに、その後不動産業から介護事業に転職。ベネッセ、東急で同事業に初期から携わり、業界を熟知した、正に「ミスター介護事業」であり、いつもその方面の教えをいただいているボクの先生である。—

講師: 板倉幸彦先生 (株式会社東急イーライフデザイン顧問)

- > 18:00~19:00 交流会 ビールと軽いつまみで情報交換タイム

[今後のSATOUフォーラムの予定] 第42回 2024年9月10日(火) 演題・講師未定



東京駅八重洲中央口徒歩4分

(東京メトロ銀座線京橋7番出口徒歩3分)

八重洲地下街24番出口出て

すぐ右側のビル4階です

## 板倉 幸彦（いたくら ゆきひこ）先生 プロフィール

昭和 31 年 6 月生（67 歳）

東京都江東区豊洲出身

学歴 昭和 54 年 3 月 武蔵大学経済学部卒業

経歴 同年 4 月 三井不動産株式会社入社

- ・ 三井不動産で 21 年間（土地活用部署 9 年間）
- ・ 2000 年介護保険開始に合わせて介護事業に転身。ベネッセケアのホーム長、東急リロケーションのシニア賃貸住宅開発責任者を経て
- ・ 東急イーライフデザインで 17 年半勤務（常務執行役員歴任）
- ・ 2022 年から 2 年間、紹介事業者「オアシス介護」相談員を兼務
- ・ 現在は個人事業主として、東急イーライフデザインから業務委託を受け、顧問として現場支配人の運営サポートや関西大手老人ホームの事業改善コンサル等を担当

以上

## 暮れてなほ命の限り蝉しぐれ 中曽根康弘

介護事業の課題は多々あろうが、素人考えで従業員の確保は大変だと思う。介護事業は他の事業と異なる特徴がある。食堂も浴室も談話室も諸々のハードが必要だとしても、それだけでは十分ではない。

介護事業の認知症の需要者に売るモノは、需要者とのコミュニケーションをはかり、心をケアするような「目に見えない真心」という「モノではないモノ」を売ることだ。真心は、個々の従業員の言葉と態度によってしか商品化できないモノなのだ。

2022年の厚労省の資料では、高齢者の認知症の人は、約440万人、認知症とはいええない軽度の障がい者は約560万人とされている。それが2050年には、合わせて1,200万人に増加すると推定している。

高齢者の3人に1人が、なんらかの認知障害をもつというありがたくない予測がハズレるように**発症予防の一大運動**を行うべきではないか。

ボクの場合は、たいしたことはやっていないが、都心の事務所に原則週4日間通うこととし、地下鉄の下車駅の二つ手前の駅で降り、事務所まで歩くようにしている。しかし、元来我が精神は**軟弱そのものの軟弱地盤**なので、「雨が降ったり・強風が吹いたり」すれば崩壊の危険を回避するという「正当事由」を盾に、電車に乗っている自分を発見することが多い。

ところで、認知症に対応するための制度と施設が徐々に整いつつあることは、本人はもとより、ケアしているご親族の皆さんにとっても負担の軽減がはかれるという意味で、大変意義深い。

ボクの両親は、長野県の「姥捨山」の近くの出身で、江戸時代は大変貧しく生活苦のため、山に年寄りを捨てたという悲惨な言い伝えがある。

「令和の時代に年寄り**は集団自決しろ**、という時代錯誤のことをヒョットコ学者が言ったそうだが、高齢者のための社会インフラの整備をはかりつつある人類の英知、努力をどう考えているのか？

人口減少社会で、この数年労働人口が増えなくともなんとかかなったのは、女性と高齢者を活用できたことが勝因の一つである。

聖路加の日野原先生は、100歳を超えてもなお新規プロジェクトに挑戦した。

「暮れてなほ命の限り蝉しぐれ」の中曽根元首相は、体全体を振るわせ振り絞って鳴き続ける蝉のように101歳で没するまで「**宿願の憲法改正運動**」を一心不乱にその情熱を燃やし続けた。

素晴らしい先人たちに囲まれた我々は、ほんの1ミリでも近づけるように努力をした

い。

以上

(文責：佐藤)

## 第 41 回 SATOU フォーラム 参加申込書

下記に記載して、参加費をお振込みください。(申込書は FAX 又は PDF にてメールで送付ください)  
よろしくお願い申し上げます。

フォーラム参加費:6,000円(税込)(交流会費 1,000円含む)

交流会参加       交流会不参加

お名前			
企業名			
部署名・役職			
電話番号		FAX 番号	
メールアドレス	@		

\*お忙しい中恐れ入りますが、**6月6日(木)頃まで**にご返信をお願いできればと存じます。

\*\*\*\*\*

### <事務局>

プラチナ出版株式会社  
〒104-0031 東京都中央区京橋 3-9-7  
京橋鈴木ビル 7F  
事務局：今井 090-1701-7108  
[Tel:03-3561-0200](tel:03-3561-0200) Fax:03-6264-4644  
E-mail:info@pulatinum-pub.co.jp

振込先：三菱 UFJ 銀行 虎ノ門中央支店 普通 5384697  
口座名義：佐藤 一雄